

令和5年度 日向市下水道事業会計決算の概要について

1. 総括

本市公共下水道事業は、昭和49年の着工、昭和62年の供用開始以来、衛生的で豊かな市民生活を支えるとともに、河川などの水質保全を図るため、下水道施設の整備とその適正維持に努めてまいりました。

本年度は、財光寺の往還地区及び切島山地区の下水道整備を進めるとともに、老朽化した汚水管路の更新工事を行いました。

また、供用開始から36年経過し、設備の老朽化が進む日向市浄化センター、富高、亀崎、細島ポンプ場について、事業費の平準化とライフサイクルコストの抑制を図るため、「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設の長寿命化対策工事を行いました。

2. 業務状況

本年度末の処理区域内人口は34,694人で前年度に比べ92人減少、水洗化人口は32,146人で前年度に比べ227人減少しています。また、普及率は59.5%で前年度に比べ0.6ポイント増加、水洗化率は92.7%で前年度に比べ0.4ポイント減少しております。

なお、汚水処理水量は3,771,315 m³で前年度に比べ12,013 m³増加、有収水量は3,530,816 m³で前年度に比べ53,475 m³減少しております。

区 分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較 (A)－(B)	増減率(%)
1. 行政区域内人口(人)	58,264	59,028	△764	△1.3
2. 処理区域内人口(人)	34,694	34,786	△92	△0.3
3. 普 及 率(%)	59.5	58.9	0.6	1.0
4. 水 洗 化 人 口(人)	32,146	32,373	△227	△0.7
5. 水 洗 化 率(%)	92.7	93.1	△0.4	△0.4
6. 年間総処理水量(m ³)	3,771,315	3,759,302	12,013	0.3
7. 1日平均処理水量(m ³)	10,304	10,299	5	0.0
8. 年間有収水量(m ³)	3,530,816	3,584,291	△53,475	△1.5

3. 財政状況

(1) 収益的収支について

収益的収支（税抜き）については、事業収益は1,375,811,861円で、うち、下水道使用料は451,722,850円、長期前受金戻入は332,611,816円、一般会計からの負担金等が537,439,000円となっています。

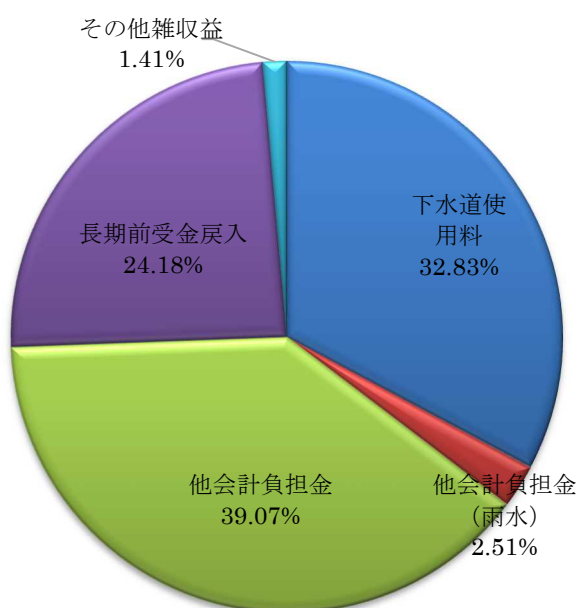
事業費用は、1,135,453,716円で、主な内訳は、減価償却費が723,794,317円、企業債の利息が77,579,609円となっています。

以上の結果、収益的収支差引では、240,358,145円の当年度純利益を計上しました。

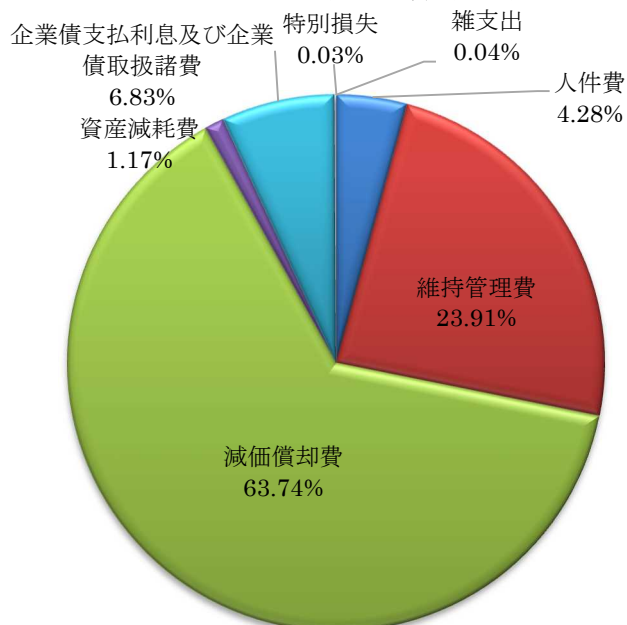
(単位：円、%)

区 分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較 (A)－(B)	増減率
下水道事業収益	1,375,811,861	1,365,059,167	10,752,694	0.8
営業収益	505,475,083	514,278,818	△8,803,735	△1.7
営業外収益	870,336,778	850,780,349	19,556,429	2.3
特別利益	0	0	0	—
下水道事業費用	1,135,453,716	1,137,290,475	△1,836,759	△0.2
営業費用	1,057,017,176	1,046,777,573	10,239,603	1.0
営業外費用	78,089,447	90,305,909	△12,216,462	△13.5
特別損失	347,093	206,993	140,100	67.7

収益的収入 構成割合



収益的支出 構成割合



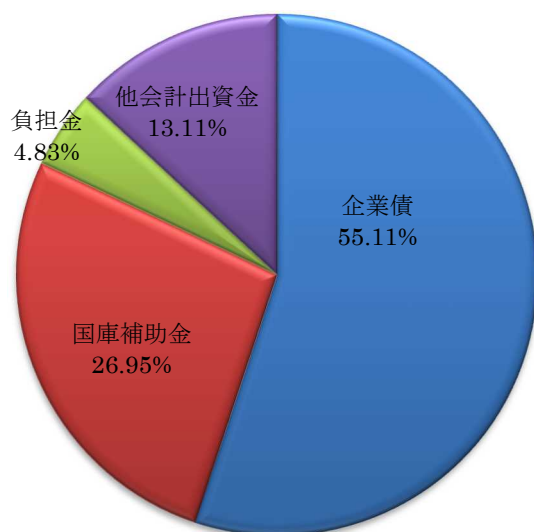
（２）資本的収支について

資本的収支（税込み）については、収入額 630,918,010 円に対し、支出額 1,254,216,736 円で差し引き収支不足額は、623,298,726 円となり、不足額は、損益勘定留保資金等で補填しております。

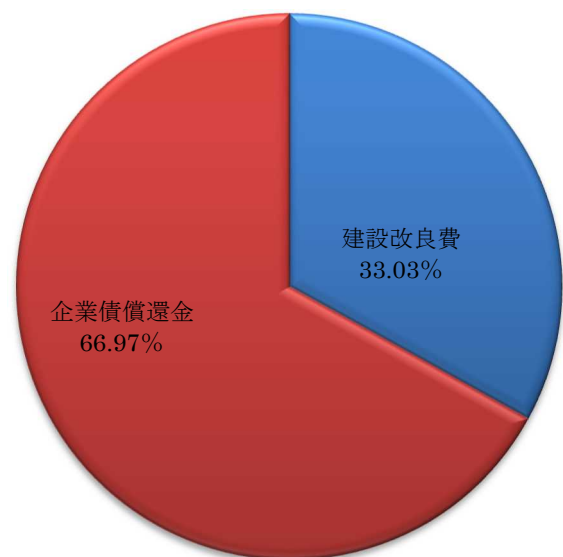
（単位：円、％）

区 分	令和 5 年度 (A)	令和 4 年度 (B)	比 較 (A)－(B)	増減率
資本的収入	630,918,010	819,849,351	△188,931,341	△23.0
企業債	347,700,000	460,300,000	△112,600,000	△24.5
国庫補助金	170,050,000	237,332,000	△67,282,000	△28.3
負担金	30,478,010	35,006,351	△4,528,341	△12.9
他会計出資金	82,690,000	87,211,000	△4,521,000	△5.2
その他資本的収入	0	0	0	－
資本的支出	1,254,216,736	1,428,220,751	△174,004,015	△12.2
建設改良費	414,264,358	550,715,898	△136,451,540	△24.8
企業債償還金	839,951,299	877,503,777	△37,552,478	△4.3
投資その他の資産	1,079	1,076	3	0.3

資本的収入 構成割合



資本的支出 構成割合



4. 企業債の状況

下水道を建設するためには、多額の費用を要するため、市の単独予算ではまかないきれません。そこで、企業債（地方債）を発行することにより、資金を調達し、事業に充当しています。

令和5年度は、347,700,000 円の企業債を発行し、839,951,299 円を償還した結果、返済を終えていない企業債残高（企業債未償還残高）は、7,438,692,669 円となっています。

企業債残高は縮減傾向にありますが、引き続き、企業債の適正な発行と償還を行っていく必要があります。

令和5年度企業債状況表

（単位：円）

区分	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
下水道事業	7,930,943,968	347,700,000	839,951,299	7,438,692,669

